

平成28年度「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」作文中学生の部 優秀賞
(群馬県治水砂防協会会長賞)

「土砂災害について」

渋川市立渋川北中学校 1年 橋本 碧海

私は、土砂災害は自然災害によるものなので、仕方がないのかなと思っていました。ですが少し前に広島県で起こった土砂災害のニュースを見て少し驚いたことがありました。土砂災害は、大雨によるものでしたが、その建物を建てた場所も原因なのだそうです。建物を建てていた場所は、建物の後ろが、急な斜面であったというのをニュースで見たことがありました。

もしも、急な斜面ではなく、ゆるやかな坂だとしたら、こんなに大規模な土砂災害だったでしょうか。そう考えると、そこに土地を作る会社、そして建物を建てた会社にも、罪があるのかなと思ってしまいます。

この土砂災害で亡くなってしまった人たちは、多いと思います。

私は、土砂災害を経験したことは無いけど私の地域に大雨が降ってテレビなどで土砂災害警報が発表されると、こわいなあと思うけど、でも実際に起こったことがないから平気かなと、少し他人事のように感じてしまいます。

でも、私の家の周りがどうなっているのかなんてあまり気にしたことがないので、今回広島の土砂災害を見て、こんなことになってしまったらいやだなと思います。

そして、広島土砂災害でたくさんのがれきにうまっている人々を助けだすのは大変だったと思います。そういうときに手伝ってくれるボランティアの人々はすごくえらいと思います。もしかしたら自分の家に支障がでてしまっているかもしれないのに、他の人を助けられるのは素晴らしいと思います。

そういうところで、地域の人との絆が深まっていくのは良いなと思いました。

私が今回の広島土砂災害で思ったことは、まず家や建物を建てる場所に気をつけることだと思います。

周りに急な斜面は無いのか、土砂崩れが起きそうな場所か、そういうものを確認した上で建物や家を建ててほしいし、斜面などがあつたら、森林を増やして土砂の流れを食い止めるなど、対策も取ってほしいなと思いました。

そして次は、地域の人のことです。

身の回りで土砂災害が起きてしまったら、周りの人の人の力になれるようにしたいです。

そうすれば、何か違う災害が起こってしまったときに、地域の人たちと協力して乗り越えられるんじゃないかと思ったからです。

だから今のうちから、あいさつをしたり、交流を深めていって、いざというときに助け合っていきたいなと思います。

そして最後は、他人事で土砂災害のニュースなどを見るのではなく、もしも自分たちにおきたらどうしようというのを考えていきたいと思います。

ひなんの仕方とか、防災用の物を持っておくことが大切だと思いました。

私はまだそういう物を用意していないので、よく考えたいと思います。

広島土砂災害をテレビで見て、自分が住んでいた所が一瞬にして崩れて、使っていた物が流されてという土砂崩れは、とてもこわいものなんだなというのを改めて気付かされました。

でも、土砂災害は、自然によるものなので絶対起こらないということはないと思います。

だからこそ、どうやって土砂災害を防ぐかが大事なんだと思います。

私は、土砂崩れによる被害を受けたことはないけれど、もしかしたらこれから被害に合うかもしれません。

だから、今回、広島土砂災害で学んだことを、被害を受ける前に、そして被害を受けた後にそれぞれ生かしたいです。

あと、身の回りで起きてしまったときは、これ以上、大きな被害がでないように、地域の人と協力したいと思います。